



新赴任医師の紹介



■整形外科 科長 おがわ てつや 小川 哲也

得意分野	四肢外傷治療 骨軟部腫瘍
資格・専門等	日本整形外科学会専門医、日本小児整形外科学会 研修会修了、医学博士、義肢装具等適合判定医師 研修会修了、緩和ケア研修会修了、医師臨床研修指導医養成講習会 受講済
所属学会	日本整形外科学会、日本バイオメカニクス学会、日本サルコーマ治療研究学会、東日本整形災害外科学会、東北整形災害外科学会、日本骨粗鬆症学会、日本転倒予防学会

十和田市立中央病院は、大学院生時代にパートで時々お邪魔をして以来3年ぶり、常勤は初めてです。整然と区画された街並みは京都を思い出させてくれます。この町で仕事をさせて頂くことを楽しみにしておりました。何卒よろしくお願ひします。



■脳神経外科 医員 きのした しょうへい 木下 翔平

得意分野	脳神経外科
資格・専門等	脳梗塞 t-PA 適正使用講習会受講済、緩和ケア研修会修了
所属学会	日本脳神経外科学会

青森市民病院から赴任しました脳神経外科の木下翔平と申します。これまで十和田には数回来た程度ですので、街並みも楽しみつつ貢献できるよう日々頑張ります。まだ一緒に働いたことがない先生もたくさんいらっしゃるの、交流の輪を広げていければと思います。よろしくお願ひ致します。



■外科 医員 まつばら りょういち 松原 良一

得意分野	外科一般
資格・専門等	緩和ケア研修会修了
所属学会	日本外科学会、臨床外科学会、日本腹部救急医学会、日本登山医学会

こんにちは。10月より赴任しました松原です。出身は京都で大学は東京、その後ここに来るまでは八戸で働いておりました。青森県は自然豊かで食材も美味しくとても気に入っております。少しでも十和田の地域医療に貢献できるように頑張ります。趣味は山登りなのでこれから八甲田や奥入瀬溪流の紅葉がとても楽しみです。



■整形外科 医員 いちさわ あゆみ 市沢 歩美

得意分野	四肢外傷治療
資格・専門等	緩和ケア研修会修了
所属学会	日本整形外科学会、東日本整形外科学会、骨折治療学会、日本肘関節学会

10月より赴任しました整形外科の市沢歩美と申します。十和田市は地元の八戸と近く馴染み深い印象があります。整形外科医としてはまだまだ未熟ですし、院内でも未だに迷って歩き回っている日々ですが、少しでも早く皆様の力になれるよう尽力致しますので暖かい目で見守って頂けると幸いです。何卒宜しくお願ひ致します。

十和田市援会様よりご寄附いただきました

9月26日、十和田市援会様(会長 欠畑茂治様)よりご寄附いただいたアルミ車椅子2台の贈呈式が行われました。式には欠畑会長、事務局 岩城康治様、飲食業代表 鈴木幸治様、青森県石油商業協同組合上十三支部副支部長 佐々木千佳子様、当院より丹野病院事業管理者、高橋院長、中谷事務局長が出席しました。今回が20回目のご寄附ということで丹野より、長きに渡る温かいご支援への感謝の言葉をお伝えいたしました。欠畑会長は「これからも頑張ってお支援を続けていきます。」と心強いお言葉をいただきました。ご寄附いただいた品々は、患者様のため大切に活用して参ります。





テーマ 地域の医療介護情報を活用する
～地域における診療情報管理士の在り方とは～

業務課 課長 東 徹



9月14日(木)・15日(金)の2日間に渡り、第49回日本診療情報管理学会学術大会が十和田市民文化センターで開催されました。本学術大会は全国の診療情報管理士の方々が来市して、講演やシンポジウムを通じて診療情報の管理や分析、データ活用等の向上を目指して情報共有を図ることを目的として開催されるもので、青森県では初開催、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、参加者が集まって開催するのは4年ぶりの学術大会となりました。

大会の開催については、当院のほか、青森県立中央病院、八戸市立市民病院、弘前大学医学部附属病院、つがる総合病院、三沢市立三沢病院、むつ総合病院が実行委員として参加協力し、まさにALL青森体制で、主催の日本病院会 日本診療情報管理学会様とともに、大会参加とオンデマンドを合わせたハイブリッド形式にて準備を行いました。

14日(木)、大会長である丹野事業管理者による開会あいさつで初日のプログラムがスタートしました。あいさつの中で丹野大会長は、「医療と介護の境目はなくなってきており、診療情報管理士は、地域の様々な状況に対応しながら、地域に根差したデータを集め、情報に変換し、地域の医療・介護データを様々な場面で活用することが求められており、各医療機関、介護施設のこれからを導いていかなければならない」と呼びかけをされました。引き続き丹野事業管理者の大会長講演、



末永日本診療情報管理学会理事長の理事長講演をはじめとして、基調講演、特別講演、教育講演、シンポジウム、学生セッション、国際統計分類委員会、ランチョンセミナー等が開催されました。



2日目の15日(金)は、モーニングセミナー、教育講演、シンポジウム、荒井副理事長の講演、POS等検討委員会、ランチョンセミナー等が開催された後、本学術大会の締めを飾る学生発表の表彰式と閉会式が行われ、次年度開催地である福岡市にバトンリレーする形で、本学術大会は無事終了いたしました。

大会は、全国から集まった診療情報管理士の皆さんや学生さん等も多数参加して、講演、企画、シンポジウム等を通して情報等を習得し自らの見識を深める場となりました。また、大会期間中は、天候にも恵まれ、市内の現代美術館や周辺の散策、観光物産センター等でお土産を購入していく姿もみられたほか、14日の夜に行われた懇親会では、当市のご当地グルメである「十和田バラ焼き」と各病院からの地酒の持ち寄りによる利き酒でのおもてなしのほか、櫻田マコトさんのライブショーや畑中舌校長による情熱的なバラ焼き紹介等により、懇親会は大いに盛り上がりました。



診療情報管理士は、様々な診療に関わる診療情報を収集、分析、管理を行い、医療の現場をサポートする役割を担っていますが、今後、医療と介護の在り方、地域包括ケアシステムの推進、医療DX等の流れの中で、その存在価値、重要性はますます高まってきており、今回当市で開催された学術大会は、その診療情報管理士のさらなる活躍が期待される大会となりました。



十和田乗馬クラブ上村会長が来場者に十和田をPRしてくださいました。



講演する東京大学イートロス医学講座特任准教授 当院総合診療科 米永一理先生



丹野事業管理者より各賞受賞者へ表彰状及び副賞が授与されました。



外来担当医表

※随時更新しておりますので、下記のURLからのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/old/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>